



## 第56回日本小児神経学会学術集会に参加して

小児科医長 田沼 直之



左から大越医師、田沼医師、長澤医師

平成26年5月29日(木)～31日(土)に第56回日本小児神経学会学術集会が、静岡県浜松市で行われました。

会場のアクトシティ浜松は、浜松駅に隣接したコンベンションセンターでアクセスの良い施設でした。今回の学術集会は「小児神経の歩みを見つめる：新たな発展と残された課題」というテーマで招待講演、教育講演、シンポジウム、早朝・夜間セミナーなど多数の企画がありました。開催日前日の夜には会場にあるコンサートホールでウェルカムコンサートがあり、ピアノ独奏、弦楽合奏、さらにピアノ・弦楽協奏の三本立ての内容で多くの楽曲が奏でられました。ピアノ独奏は宮本いずみさんによるシューベルト、ドビッシェ、ショパン、リストなどの名曲、弦楽アンサンブルは浜松フィルハーモニー管弦楽団によるバッハ、モーツァルトなどの楽曲、最後のピアノと弦楽によるアンサンブルはチャイコフスキーや日本の童謡のメドレーでクラシック初心者の私でも大いに楽しめました。浜松はピアノなどの楽器メーカーで有名ですが、コンサートホールの音響効果が素晴らしく、迫力満点でした。

肝心の学会についてですが、医局からは長澤、福水が口演発表、大越、田沼がEnglish Sessionで発表しました。英語での発表が久しぶりの私は、しどろもどろになってしまいましたが、これを機にまた英会話を勉強しようと思いました。

特に印象に残った講演は国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長の埜中征哉先生の基調講演「筋肉病学 わたしと患者をつなぐもの」でした。埜中先生は筋肉病学では世界的な大家の先生です。筋ジストロフィーの分野をはじめ、多くの業績をあげられており、また、患者さん一人一人にとっても気さくでやさしい先生でもあります。先生のこれまで歩いてこられた道のりには多くの患者さんとの出会い、そして別れがあり、病気の原因を突き詰め、治療法を開発するモチベーションにつながっていたのだと感じました。先生の人間味あふれるお話に思わず引き込まれてしまったのは私だけではなかったと思います。

重症心身障害医療の教育講演なども大変参考になり、充実した3日間でした。次回は大阪で開催され医局からも多数の演題が出ることを期待します。



会場のアクトシティ浜松



## 平成26年度 第1回院内感染防止研修会

院内感染制御チーム（ICT）  
小児科医長 古島 わかな



講義を行ったICTメンバー  
(左) 検査科 猪狩主任  
(右) 薬剤科 倉本主任技術員



グループワーク後の発表の様子

6月11日（水）、満開のあじさいに囲まれたあじさい館で、第1回院内感染防止研修会が行われ、100名近い職員が参加しました。

前半は、ICTコアのメンバーによる講義でした。検査科の猪狩さんによる「感染性微生物とその検査」では、どんなところにどんな細菌がいるのかや、細菌培養検体の正しいとり方について学びました。薬剤科の倉本さんの「抗菌薬を効果的に使用するために」は、1回の投与量を多くすることが効果的な薬と、投与回数を増やすことが効果的な薬など、薬剤によって効果的な投与方法に特徴があるというお話でした。

後半は「手指衛生のタイミングについて」のグループワークでした。医師と看護師が患者さんと接する場面のDVDを見て、手指衛生が正しくされていないところはどこか？という間違い探しを、多職種が入り混じって意見交換しながら行いました。DVDでは、モヤモヤのバイ菌がスタッフの手を介して移っていく様子、手指衛生によりバイ菌が消えてキラキラのきれいな手になっていく様子がわかりやすく映し出され、適切なタイミングで手指衛生を行うことの大切さを再確認しました。日頃、気になっていたことなどを職種を超えて意見交換する機会となり、疑問点が解決できて有意義だった！！という感想をたくさん頂きました。また、私達が通勤途中につかまるバスや電車の吊り革には、ウイルスも一緒につかまっており、そのウイルスは何日間も、時には49日間もつかまり続けている、という漫画も印象的でした。セン

ターに持ち込まないように、そして自分もかからないように気をつけなくては・・・と実感されたのではないのでしょうか。

感染対策は、全員で行ってこそ有効です。1人がさぼったために大勢の努力が水の泡・・・などということのないように、センター一丸となって手指衛生の徹底に努めていきたいですね！！



実行委員と講師の方々。左から検査科猪狩主任、古島小児科医長、薬剤科倉本主任技術員、工藤感染管理認定看護師、石川内科医長。





## 春の企画「桃太郎の鬼退治」

指導科 石田 泰美



6月3日(火)理学療法室にて指導科春の企画「桃太郎の鬼退治」が行われました。

ご存じ昔話の桃太郎を題材に、参加者が桃太郎となって、犬、猿、キジの絵カードを見つけ、鬼退治(鬼の的あて)を楽しみました。

入場するとまずは絵カード探し。カードは草木コーナー、岩コーナー、川コーナーにそれぞれ隠れています。草木コーナーには蝶やカブトムシやカエル、岩コーナーにはサソリや恐竜がいました。スズランテープのシャラシャラ川には魚はもちろん、その奥にCMで注目の

カッコイイ桃太郎も大判サイズで隠れていたんですよ。参加した皆さんは気づきましたか?

カードを見つけたら、さあ、いよいよ鬼退治。飛ばした筒が鬼の顔に命中すると、怖い顔がクルッと回転して泣き顔に変わります。狙いを定めてエイッと飛ばしますが、苦戦していた人もいましたね。やっつけた後は、お宝(景品)を選んでご帰還です。それぞれお気に入りの宝を見つけ、意気揚々と会場を後にしていました。

ちなみに、入り口にあった「日本一」の旗とかぶとは指導科グループ活動「ラッキーセブン」、岩コーナーに吊り下がっていたごっこ岩は同じく「パレットクラブ」の皆さんの作品です。お宝の一つにあったパンは、地域の作業所「ギャロップ」さんが焼いてくれたものでした。どうもありがとうございました。

さあ、これからまだまだ、いろいろな行事が続きます。利用者の皆さんと一緒に、今後も楽しい一時を作っていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。



キジはどこにいるのかな?



さあ!鬼をやっつけろ!



お宝がたくさん!どれにしよう?



### 日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師認定証 授与式

日本重症心身障害福祉協会が認定する「日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師」に当センターから7名が認定され、6月30日(月)に院長から認定証が授与されました。

今後、重症児看護のエキスパートとしての活躍を期待しております。

- |       |        |       |         |
|-------|--------|-------|---------|
| 1-A病棟 | 沼崎 真砂子 | 4-1病棟 | 深山 順信   |
| 1-B病棟 | 渡邊 由紀子 | (同上)  | 高橋 雅美   |
| 2-A病棟 | 中村 美知子 | (同上)  | 杉ノ上 ひふみ |
| (同上)  | 藤木 里絵  |       |         |

## 第1回動物と触れ合う会

5月28日(水) あじさい館多目的室にて今年度最初の動物と触れ合う会が行われ、11人のボランティアさんと9匹のワンちゃん、さらに1匹のネコちゃんが府中療育センターに来てくれました。

当日参加した利用者さん達は、和やかに触れ合いを楽しんでいました。

今回参加されたボランティアさん、ワンちゃん、ネコちゃんたちを紹介します!!



埜口 麻穂さん  
キャンディちゃん



佐久間 久美さん  
ビートちゃん



緒方 彩子さん  
ふあーふあちゃん



小田 さやかさん  
彩音(さと)ちゃん



湯本 悦子さん  
フィオちゃん



泉 聖子さん  
くるみちゃん



石川 幸子さん  
フィーゴちゃん



岡本 智枝さん  
サナちゃん



望月 裕子さん  
ぼんなちゃん



仲田 美知子さん  
ミシェルちゃん



仙庭 早苗さん  
(司会者)



## 春の総合防災訓練に参加しました!

事務室 栗原 拓

6月24日(火)、府中消防署にご協力をいただき、春の総合防災訓練が行われました。

まずは2-A病棟で夜間に火災が起こったとの想定で、通報、初期消火、さらに避難誘導の訓練が行われました。次に、事務室前の駐車場で消火栓を使った放水訓練などが予定されていましたが、あいにくの雨のため中止となり、あじさい館にて消防署職員による講習会が行われました。

講習会では、消火器を使用する上での注意点や、建物火災発生時の煙の流れ方なども交えて、初期消火に関する講義を受けました。あわせて、先に行った病棟での夜間想定訓練について、通報、消火活動、避難誘導までのそれぞれ実際にかかった時間をもとに、今回の訓練に対する講評をいただきました。また、利用者さんを避難誘導する際の方法についての具体的なアドバイスもいただきました。

この総合防災訓練で得た知識や教訓を大切に、センター全体の防災意識を一層高めていきたいと思っております。



病棟での訓練の様子



あじさい館での講習会の様子



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

\*-\*-\*ホームページもご覧下さい\*-\*-\*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>